

事務事業評価表

評価対象年度	平成 15 年度									
事務事業名	観光協会支援事業				事務事業コード					
担当部課係等	産業環境部商工観光課				<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画対象事業					
総合計画体系	産業の振興				法令根拠					
予算科目	会計	款	項	目		事業 観光対策				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和40年度 ~)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)					
事業概要					全体計画 (単位:千円)					
観光客の誘致のために、市内の名所、史跡並びに郷土の物産を紹介宣伝する観光事業を行う観光協会に対し支援する。 <主な観光協会の事業内容> ・桜まつり、夏まつり、花火大会、もおか木綿踊り等のイベント事業開催 ・真岡もめん製品をはじめとした物産品販売 ・物産会館管理運営					投入量	事業内訳	国庫支出金			
							県支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源			
							事業費計(A)	0		
						人件費	正規職員			
	正規職員以外									
	人件費計(B)	0								
	トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
① 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	15年度実績 市補助金交付事務、事務処理(金銭出納事務、連絡発送事務、観光PR関係事務) 16年度計画 15年度と同様	⇒	①観光協会支援事務日数 ②観光協会への補助金交付額
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⇒	①観光協会数 ②協会会員数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⇒	①補助金/協会総予算額(補助金の占める割合) ②イベント事業に参画した協会会員数/協会会員数
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		⇒	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
真岡市を訪れる観光客が増え、地域経済が活性化される。		⇒ 全国各地からの誘客数	

(2) 総事業費・指標等の推移 (単位:千円)

		12年度 (実績)	13年度 (実績)	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (見込)	17年度 (目標・計画)	18年度 (目標・計画)
投入量	事業内訳							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	6,700	6,200	6,200	6,000	6,500	6,500	6,500
	事業費計(A)	6,700	6,200	6,200	6,000	6,500	6,500	6,500
人件費	正規職員	3,120	3,120	2,944	3,099	3,115	3,115	3,115
	正規職員以外							
	人件費計(B)	3,120	3,120	2,944	3,099	3,115	3,115	3,115
	トータルコスト(A)+(B)	9,820	9,320	9,144	9,099	9,615	9,615	9,615
活動指標	事務日数	54	61	70	80	70	70	70
	補助金額	6,700	6,200	6,200	6,000	6,500	6,500	6,500
対象指標	協会数	1	1	1	1	1	1	1
	会員数	46	48	45	43	45	50	55
成果指標	入会率							
	補助割合 参画率	59	59	64	54	51	50	50
上位成果指標	誘客数	1,871,946	1,951,083	2,115,602	2,325,805	2,337,434	2,349,121	2,360,866

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？

・市の繁栄を目指し、市内外に市のPRを民間、行政等関係機関が一堂に参与する組織を昭和40年に設立されたので支援をはじめた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか？

・昔からの産業(真岡もめん)やSL機関車等を中心に観光PRの戦術に大きく関わる観光資源を発掘でき、今後も更なる発展が期待される。

・観光協会会員も当初は、個々の商店中心であったが、企業等の参加が増えている。

③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？

・特に意見は上がっていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが上位施策に結びついていますか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく ⇒【理由】⇒	観光協会事業をとおしての観光PR促進は、市の政策に結びつく。地域活性化や地域経済面に大きく関わっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的ですか？	<input type="checkbox"/> 手が引ける ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない ⇒【理由】⇒	商店を中心として市の経済活性化が図られ、あわせて市のイメージアップとしての地域へのPRが図られている。 市が行う観光事業を観光協会で実施しており妥当である。
	③ 対象・意図の拡大又は縮小余地 事業の対象・意図は適切か？拡大・縮小の余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	観光協会への支援であり適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある ⇒【原因】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 余地がない ⇒【理由】⇒	イベントの参画できる協会会員数を更に求めることができる。 市外の誘客数をさらに増やし、市内の経済活性化が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒ 【問題解決策】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ	観光協会は、本来任意団体であり、自主運営が望ましいが、現段階で行政の支援が無ければ、協会の存続が危ぶまれるおそれがあり、行政が目的とする市の活性化に支障を期す。
	⑥ 類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) 市関係の他団体との整合の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない	物産振興会、木綿保存振興会
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒ 【問題解決策】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ	協会の自主運営を目指すためには、協会事務局をはじめ組織の充実化が必要であり、協会会費の増額等を考慮すると現体制では会員の意欲向上に問題があり、行政の支援が必要
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 不可能 ⇒【理由】⇒	
公平性 評価	⑨ 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正な負担率ではない。⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 公平・公正な負担率である。⇒【理由】⇒	行政の補助金で概ね協会運営をしており、自主財源が乏しい

3 改革・改善方向の部

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 見直し(目的妥当性 効率性 有効性 公平性) 統合 継続

- ①観光協会組織の充実と事業PR機会の拡充
- ②観光資源の開発と既存の資源の活用
- ③地域を取り入れた事業の促進

(3)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?

- ①地域住民の理解
- ②協会と行政の役割分担の明確化。将来どうしていくのか、そのために現状でその関与が必要であることを記述する。

4 事務事業の2次評価結果

(1)1次評価結果の客観性と出来具合

記述説明不足(説明責任不十分) 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

(2)2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 適切 見直し余地あり
- ② 有効性 適切 見直し余地あり
- ③ 効率性 適切 見直し余地あり
- ④ 公平性 適切 見直し余地あり

(3)評価結果に至る経緯や申し送り事項



(4)2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善
 予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5)その他2次評価会議で指摘された事項

協会と行政の役割分担の明確化とあるが本当にできるのか。
 行政が関与して支援していかないと運営できない。

(6)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

5 最終意思決定結果

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善
 予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?